総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

地域人材ネット

地域のみんなが観光の担い手！
地域ぐるみによる「観光まちづくり」をお手伝い

中田　浩康　（　なかだ　ひろやす　）

有限会社アグリテック　代表取締役社長

○ 登録者情報

所在地

北海道上川郡東川町

略歴

栃木県出身(小山市)
●1997年：東京農業大学(生物産業学部生物生産学科)卒業
●1997～2001年：大学卒業後、農業・農村関係の出版社である一般社団法人農山漁村文化協会（農文協）に就職。在職中に、営業・取材等で全国幾多の農山漁村をまわり、地元農家をはじめそこで生活する多くの人々に触れるうちにそれぞれの地域ごとに持つ地域資源の多様性について感銘を受ける。
●2001年～2003年：農文協を退職しフリーの農村ライターとして北海道旭川エリアを拠点に活動。
●2003年～現在：同社の設立とともに入社。地域資源を活用した体験と観光を結びつけけた受地主導による「観光まちづくり」ビジネスを展開。とくに都市と農村の交流活動（グリーンツーリズム分野）では、修学旅行等での農業体験や教育的観光プログラムの受入体制整備のほか、地域資源を活用した体験プログラムの企画開発、地域と観光客（利用者）、インバウンドを結び付けるコーディネート等をおこなっている。そのほかまちづくりアドバイザーとして、各自治体や団体と連携し各種プロジェクトに関わりながら交流人口増加からの地域活性化のお手伝いをおこなっている。また地域交流ビジネスとして独自の「６次観光化」を提唱している。2012年～代表取締役に就任、現職。
●2007年～現在：地域再生マネージャー（一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）
●2008年～現在：総務省地域力創造アドバイザー（地域人材ネット登録）
●2008年～2009年：雇用創造推進アドバイザー(北海道労働局)
●2012年～2019年：農村活性化支援アドバイザー（農水省・制度終了）
●2023年度北海道産業貢献賞受賞(教育旅行・農泊支援・農村活性化）

著書・論文等

●月刊誌「北海道経済」コラム連載中
●広報ひがしかわ（東川町広報誌）コラム連載中
●「農業体験受入Ｑ＆Ａ集」（北海道協同組合通信社刊・監修共著）
●「月刊ニューカントリー」短期連載、「月刊 教育旅行」（公益財団法人日本修学旅行協会発行寄稿）、「月刊AFCフォーラム」（「地域再生への助走」寄稿）など、寄稿多数

○ 地域のみんなが観光の担い手！
地域ぐるみによる「観光まちづくり」をお手伝い

取組の内容

弊社では創業以来、地域資源を活用した体験型観光プログラムの開発・商品化を事業としておこなっており、その培ったノウハウをもとに「観光まちづくり」の視点で地域活性化のサポートをしています。
●地域資源調査分析と活用とその開発、商品化
地域資源の掘り起こしとその活用の提案。地域資源を活用した観光プログラム等の開発、都市農村交流活動やインバウンド、移住定住などニーズに合わせたプログラムの開発や受入れのノウハウなど支援。
●教育旅行・研修旅行企画
修学旅行等の学習プログラムとして、農泊や探究型学習など課題解決型の学習プログラムのの開発。教育旅行のほか企業研修やチームビルディング等におけるプログラムや受入れ支援。
●受入体制整備・人材育成
内発的なホスピタリティの育成や観光人材、ガイド人材等の育成を指導しながら、受入れ体制やその一元化など、地域実情に合わせた体制整備を支援。
●活動拠点づくり（アクティビティセンター設立）
観光案内やアクティビティの提供のほか、地域観光のポータル専門店を展開。各地域にアクティビティセンターの展開や、地域実情に合わせた活動拠点づくりの支援等。

町民といっしょに地域の魅力探しと掘り起こし

修学旅行等における課題解決型プログラム受入

実績

●着地型観光や農山漁村ツーリズム、教育旅行等における講演活動
●観光アクティビティ商品開発、受け入れ体制整備（各自治体等）
●インバウンド向けのアクティビティ商品開発（DMO、各観光協会、農水省農泊推進事業採択地域等）
●観光ガイド育成、ガイドアシスタント人材の育成等（DMO、観光協会、農泊採択地域等）
●地域資源発見町民対象町民バスツアー（東川町等）
●グリーンスローモビリティ、電動キックボード等を活用したガイドツアー、二次交通開発（旭川エリア）

工夫した点や苦労した点

持続可能なまちづくりをおこなっていくには、地域に経済がまわる仕組みが必要。交流人口や関係人口においても、地域にらいほうしてくれる、地域に興味をもってくれるという点で、どのようなターゲットを対象に地域資源を活用するか、地元の魅力を掘り起こしするかを常に意識しておこなっています。とりわけ、地方においては観光資源や人材に限りがあるため、さまざまなニーズに対し異業種とも連携したローカルならではツーリズムの創出、観光開発をおこなうことを意識しています。

ひとことPR

地域が地域であるために、まず自分の住んでいる地域の資源（宝物）を探すことからはじめてみませんか？地元のみなさんが地域資源を知り、他人事では自分事(当事者)となって考えていく場を創出していきます。それら地域資源を活用しながら観光を手段として交流人口増加の推進を切り口とした地域活性化を図っていきます。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

1.地域資源を活用した地域経済循環		2.まちなか再生	
○	地場産品発掘・販路開拓		中心市街地活性化
○	6次産業化		空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
	経営資源の引継（事業承継等）・起業支援		商店街活性化
	地域中核企業等の支援		その他
	その他		
3.生活機能の維持		4.環境保全・SDGs	
	地域医療・福祉		分散型エネルギーシステム
	地域交通		地球温暖化対策
	集落機能の確保		廃棄物・リサイクル対策
	その他	○	その他　EVモビリティ・グリスロ
5.防災減災・危機管理		6.観光振興・交流	
	建築物耐震化・長寿命化	○	DMOとの連携
	地区防災計画	○	インバウンド対応
	BCP	○	民泊・農泊
	避難所運営	○	地域おこし協力隊の推進
	感染症対策	○	その他　教育旅行・研修旅行
	その他		
7.関係人口の創出・拡大		8.移住・定住促進	
○	滞在・活動の場づくり		起業・事業承継等支援
○	地域おこし協力隊の推進		空地・空家対策
○	地域と関係人口の協働		地域おこし協力隊の推進
	その他		その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援		10.地域づくり人材の育成・教育	
	結婚・出産・子育て支援	○	人材研修
	働き方改革	○	ふるさと教育
	子どもの貧困対策	○	地域と教育機関の連携（高校魅力化・域学連携等）
	その他	○	その他　ふるさとガイド・観光ガイド育成
11．自治体経営イノベーション		12.シティプロモーション・地域PR	
	財政マネジメント（公共施設管理・公会計整備）	○	地域ブランディング
	官民連携（PPP・PFI）		メディア活用策
	自治体間連携		効果の把握・評価
	住民参加		その他
	EBPMに基づく政策立案		
	その他		

関連ホームページ

アグリテック公式	http://www.agtec.co.jp/
HAC（アクティビティ専用URL）	https://www.hac-higashikawa.jp/

連絡先

メールアドレス	info〔アットマーク〕agtec.co.jp		

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。